

35号

2015.11.1

議会だより



みなみいせ 2015

恋人の聖地

— 鵜倉半島ハートの入り江 —



主な内容

平成27年 第3回	
9月定例会	2～3
一般質問	4～15
議員視察レポート	16
みんなのつぶやき	17
みんなでやっとなるで～ほか	18

発行／三重県南伊勢町議会
〒516-0194 三重県度会郡南伊勢町五ヶ所浦3057
編集／議会広報特別委員会

南伊勢町

平成27年 第3回定例会

議案

9月8日から11日までの日程で、第3回定例会が開催され、27年度補正予算案8件、条例の改正案6件、その他議案9件、請願4件が上程され、いずれも可決となりました。また、平成26年度一般会計歳入歳出決算をはじめとする9件の決算認定は、各常任委員会に付託されました。さらに、一般質問では12人の議員が壇上にて質問しました。

●平成27年度南伊勢町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)
全員賛成

●平成27年度南伊勢町一般会計補正予算(第6号)
全員賛成

●平成27年度南伊勢町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
全員賛成

●平成27年度南伊勢町介護保険特別会計補正予算(第3号)
全員賛成

●平成27年度南伊勢町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
全員賛成

●平成27年度南伊勢町戸別合併処理浄化槽事業特別会計補正予算(第1号)
全員賛成

●平成27年度南伊勢町下水道事業特別会計補正予算(第2号)
全員賛成

●平成27年度南伊勢町一般会計補正予算(第7号)
全員賛成

●新町建設計画の変更について
全員賛成

●あらたに生じた土地の確認について(4件)
阿曾浦3件
田曾浦1件
全員賛成

●字の区域の変更について(4件)
阿曾浦3件
田曾浦1件
全員賛成

●南伊勢町個人情報保護条例の一部を改正する条例
賛成多数

●南伊勢町行政手続き条例の一部を改正する条例
全員賛成

●南伊勢町税条例の一部を改正する条例
全員賛成

●南伊勢町半島振興対策実施地域における固定資産税の特例措置に関する条例の一部を改正する条例
全員賛成

●南伊勢町手数料徴収条例の一部を改正する条例
全員賛成

●南伊勢町コミュニティセンター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
全員賛成

請願

●義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実を求める請願書
全員賛成

●教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める請願書
全員賛成

●子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める請願書
全員賛成

●防災対策の充実を求める請願書
全員賛成

発議

●義務教育国庫負担制度の存続と更なる充実を求める意見書

●教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める意見書

報告

●子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める意見書

●健全化判断比率について
資金不足比率について



第1回伊勢志摩サミット南伊勢町民会議

平成26年度決算 常任委員会付託

- ▶平成26年度南伊勢町一般会計歳入歳出決算
- ▶平成26年度南伊勢町国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- ▶平成26年度南伊勢町介護保険特別会計歳入歳出決算
- ▶平成26年度南伊勢町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
- ▶平成26年度南伊勢町戸別合併処理浄化槽事業特別会計歳入歳出決算
- ▶平成26年度南伊勢町下水道事業特別会計歳入歳出決算
- ▶平成26年度南伊勢町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算
- ▶平成26年度南伊勢町病院事業会計決算
- ▶平成26年度南伊勢町上水道事業会計決算



まちを元気に わくドキ南伊勢

補正予算 主な質疑

南伊勢高校南勢校舎下校バス臨時便



問 議員 自主運行バス維持費の中で、委託料が追加補正されているが、その理由は。

答 環境生活課長 教育委員会から南伊勢高校南勢校舎のテスト期間中、下校に合わせ、南島地区へのダイヤを追加してほしいとの要望があり、臨時便として、南勢野添〜古和（道方・阿曾浦・神前・方座経由）を運行することとした。

より良い環境整備

問 議員 漁港漁場管理費の中の、工事請負費の内容説明を。

答 水産農林課長 奈屋浦漁港船溜が、潮の流れが悪く、ヘドロ体積による悪臭が問題となってきたため、防波堤消波ブロックを9個取り除き、悪臭対策を行う。





掛橋 靖 議員

基本的な考えは

強靱な地域をつくりあげる 町長



南勢庁舎

問 当町における地域強靱化の役割は、地域特性から膨大かつ広範囲に及ぶものになるが、基本的な方針は。

答 町長 地域強靱化計画は、どんな自然災害などが起こっても機能不全に陥らず、いつまでも元気であり続ける「強靱な地域」をつくりあげるための計画。平時から備えを行うことにより、持続的な社会の構築、ひいては地域の活性化ならびに経済の活性化に資

拠点が必要では

総合的に考えていく 町長

問 「町民起点のまちづくり」の基本理念、目指す姿「安全・安心を実現し、希望をもち誇れる南伊勢町」の実現に向けて、真の意味でのまちづくりには、町民の一体化と「オール南伊勢」で課題解決に立ち向うことが急務と考えるが、その中心となる拠点が必要では。

答 町長 現在の分庁舎方式のメリット・デメリットについて十分に考慮しながら、住民サービスのより一層の向上をめざす。また、地方創生の観点から、今後の20年、30年を見据えたまちづくりをしていくための体制について、行政機能なども併せて総合的に考えていくことも大切と考えている。

することをめざしている。大規模自然災害が発生したときでも地域社会・経済が迅速に再建・回復できる条件を整備し、長期的視野を持った計画的な取組や適切な施策を組み合わせることにより効率的・効果的に強靱化を図ることを基本方針としている。



南島庁舎



倉田 育 議員

町有施設の耐震化は

全て完了済 町長

問 町有施設で耐震化・補強工事、施設やサービスの拡大を予定しているものは。

答 町長 耐震化・補強工事については、学校施設を含め2次避難施設31か所は、全て耐震化されている。また、合併10周年記念事業の一環として、本年4月に恋人の聖地として認定を受けた見江島展望台に鐘モニュメントを設置することとしている。



文化活動の拠点として

河床掘削の要望は

県管理6河川 町管理3河川 町長

問 河川維持修繕（河床掘削）の要望がでているところは何か所か。またここ数年で河床掘削が完了している箇所と、現在事業計画にはいつている箇所は。

答 町長 現在各地区から河床掘削の要望のある河川は、県管理河川が6か所、町管理河川が3か所となっている。最近、河床掘削を実施



流れの良くなった河川

した河川は、県管理河川では、古和川・泉川・神津佐川、町管理河川では、東宮川・道方川・方座川・貝住川・下出川・桂川となっている。

現在の事業計画河川は、県管理河川で村山川・五ヶ所川・小方川を検討しており、町管理河川では職谷川を予定している。

その他の質問

●平成27年度交付税決定状況について



東 伊久雄 議員

スポーツ環境の整備は

快適・安全に行えるように 町長

地域づくり支援事業は

テーマを設けて取組を 町長



目指せ東京オリンピック(^v^)

問 子どもが減り続けるなかで、小中学生のスポーツ環境をどのように整備していくのか。

答 町長 当町では年々、子どもの数が減少しており、学校教育外のスポーツ活動においても、小中学生が所属するスポーツ少年団の団員数が減少している状況にある。

子どもがスポーツをと

問 地域づくり支援事業の実施状況と今後のスケジュールは。

答 町長 今年度は8月に地域づくり支援員である役場職員を対象に地域づくり支援事業についての打ち合わせを行い、全区必須の項目として各区の災害行動計画の作成支援や具体的な行動の検証を行っていくこととしている。

そのほかにも、地域の問題点や課題の取組をどうしていくか、また、どのように伝統文化を守っていくかなどのテーマを設けて取組を進めていく。

おして健全な心身を育み、子ども同士や大人と交流し、笑顔と元気のあふれる町にしていくため、スポーツ活動の場となる体育施設を整備し、スポーツを快適、安全に行えるよう、スポーツ少年団などを支援していく。



住民一体の地域づくりを！



松葉和久 議員

バイパス開通は

平成28年度末の供用を 町長

問 南島バイパスの開通情報は。

答 町長 伊勢建設事務所からは、平成

28年春頃の供用開始を目指して鋭意事業を進めてきたが、平成26年度の工事中に切土法面の一部に問題が発生したため、事業進捗が遅れることに

なつたと聞いている。

現在は、第2工区の工事の約93%が完了しており、今後は、平成28年度末の供用を目指して工事を進めていきたいとのことであった。



工事中の南島バイパス

町民への説明は

各地域で実施 町長

問

南島地域が上水道になる計画がある中で、新しい水道料金開始まで、あと1年半しかないが、この短い期間の中で町民に対して、どのような説明をしていくのか。

答

町長 平成28年度末の事業統合に向け、最後の2簡易水道の資産調査を進めている。既設設備の更新と維持管理に必要な投資も念頭

に置いて、料金の算定に取り組みたいと考えている。

水道事業の統合は町民に直接影響が生じる事となるため、各地域へ分かりやすく説明を行い、理解を得ながら進めていきたいと考えている。

その他の質問

● 町立病院への新卒看護師の受け入れについて



一杯どうぞ!!

女性の参画は

彼女たちを主役に まちづくり政策監



岡本 眞 議員

問 地方創生を推進するためには、女性の感性を生かすべきと考

答 まちづくり政策監 地方創生会議では、4割近い委員を、地域を支えている女性にお願いしており、実際に子育てしている観点からの意見をうかがっている。これ

からつくっていく事業の中で、多くの女性の方を巻き込んでいかなければと考えている。

特に高齢の女性の方が非常に多く、地域のために何かしたいという気持ちをを持つ方も少なくないため、彼女たちを主役にした何かができるれば幸いと考える。



女性の参画を

地域創生の素材は

地域みんなで育んで

まちづくり政策監



がんばれば若人

問 南伊勢町には地方創生につながる素材はあるのか。

答 まちづくり政策監 当町には、まちの歴史・文化・伝統を語る高齢者の方の知恵と経験、南伊勢高校のSBPの取組につながっているような若い人の感性があ

る。町の特産品をどう活用していくかは、まちの未来を担う人材が一番の素材になると考えている。

同時に高齢者の方には生涯現役で活躍してもらいながら、子どもたちに南伊勢町の誇りを教えてほしいと思っている。子どもたちをまちの宝と考えて、地域みんなで育んで

いければ、ここにしかない素晴らしい素材になると思う。

その他の質問

- 防災について
- 農業振興について



山本周也 議員

協力と活用は

活性化につながるものが重要 町長

問

来年の5月26日・27日に「伊勢志摩サミット」が開催されるが、町関連の諸団体における今日までの活動内容と、今後の予定は。また、地域の魅力発信について町の考えは。

答

町長 当町として官民を上げて歓迎

の機運を作り出し、サミット受け入れの取組を行い、開催を契機として、観光商工業、農林水産業及び地域の活性化につなげていくことが重要である。6月に農協・漁協・商工会・観光協会・行政などで『伊勢志摩サミット南伊勢プロジェクト委員会』を設置に向けての打ち合わせ

せを行い、8月に『伊勢志摩サミット南伊勢町庁内会議』を立ち上げた。今後9月中に町内各種団体の方々にも参加していただく町民会議を設置して、地域の食材や自然、伝統文化などの魅力を発信していくことを検討していきたいと考えている。



伊勢志摩

2016年主要国首脳会議 三重県で開催!

サミット2016

5月26日・27日

「日本の美しい自然」豊かな文化、伝統
「日本のふるさと」の雄姿「大小の島々、美しい入り江」
「日本の精神性に触れていただける場所」
三重県ならではの「おもてなし」で、世界の皆様をお迎えいたします



伊勢志摩サミット三重県会議

活性化への起爆剤

制度の拡充は

検討していきたい 町長

問

全体として出生数が減少傾向にある当町において、「次世代を担う子どもの確保を図るため、その出産を奨励・祝福する」ことの意義はさらに高まっている。金額の増額や第2子への拡大など「第3子祝い金支給制度」の拡充は図れないか。

答

町長 本町が直面している著しい人口減少と少子化に対応し、

また若者にとって暮らしやすい生活環境を整えるための若者定住促進事業として重要な施策のひとつと考えており、今後制度の内容について、検討していきたいと考えている。

その他の質問

- 第4期障がい者福祉計画の冊子印刷製本に関する法令違反について
- 無形民俗文化財等の記録化に関する今後の事業計画について



まちの宝物



手塚征男 議員

増床・高台移転は

検討中である 町長

問 真砂寮の増床・移転計画の進捗状況は。

答 町長 わたらい老人福祉施設組合の管理者・副管理者会議において、昨年8月に高台移転と増床に関しては、おおむね合意をいただいている。現在は本格的に整備候補地用土地の確認や、進入路などの調整をし、検討中である。

問 進捗が遅れている要因は。

答 町長 関係市町と整備候補地に隣接した国有地や共有地があること、公図の一部に未整備部分があることなど、各方面に確認を行っているためである。

問 真砂寮の増床・移転計画の進捗状況は。



安心・安全な場所へ

一次避難場所・避難路の整備は

計画はほぼ終了 町長



備えが大事

問 一次避難場所への避難路・避難場所の整備状況は。

答 町長 各区ともに一次避難場所の見直しを行い、町内242か所に一次避難場所および避難路を計画した結果、整備はほぼ終了した。

問 避難所での食料・水・トイレの確保の状況は。

答 町長 毎年非常食14000食分と保存水などを購入し各地区と2次避難所などに備蓄を行っている。トイレについても現在175セットを整備している。

その他の質問

- 個人番号制問題について
- 「地域包括ケア」新総合事業の体制づくりについて



澤村 圭也 議員

伐採計画は

その都度対応 町長

問 道路標識が木の葉や枝で見えない所が多くあるが、伐採する計画は。

答 町長 道路管理者などによるパトロールなどで支障のあるところを確認し、その都度所有者の調査を行い対応している。



近づくと見えるが



見えない標識

道路の維持管理は

修繕工事を実施 町長

問 サニーロードの ASF アルト段差部分の調査と補修は。

答 町長 伊勢建設事務所が調査を行い、本年度中に舗装修繕工事を実施する予定。

問 トンネル内壁点検は。

答 町長 平成25年度に県管理のトンネルはすべて点検・修繕計画を作成し、工事の実施、工事の計画を予定している。



工事も終わって一安心



河村健志 議員

学校外での防災対策は

防災学習の充実を図る 教育長



登校中の『もしも』に備える

問 子たちが学校にいる時の防災対策は万全の対策をしていると思うが、家庭にいたり放課後友達と遊んでいる時も含め防災対策であり防災教育だと考える。町の考えは。

答

教育長 町内の各学校では「自助」

「共助」の考え方を理解して行動できるように各関係機関と連携し、発達段階に応じた防災教育を推進している。夏休み中には、家庭で防災について考えるきっかけになるような宿題も出している。

今後も、地域の自主防災団体の協力をあおぐなど、さらに地域と連携するとともに、先進地域の事例に学びながら、防災学習の充実を図っていく。

子どもたちのために検討して

調査を実施していききたい 町長



「安心・正確・心地良い」を利用者へ

問 校区が広くなった子どもたちが、町バスやデマンドバスを利用しやすいように料金や本数・時刻などを考えてほしいとの意見がある。子どもたちや子どもを育てている親の目線に立って検討してはどうか。

答

町長

子どものデマンドバス利用料金については、回数券の発行や小中学生を子ども料金として大人料金の半額としているなどといったことを実施。また、スクールバスや一部フリーパス券による町バス利用(小学生)や、平日および土日のクラブ活動(中学

生)に合わせたスクールバス運行をしている。今後とも子どもたちが地域で活動しやすいよう、町営バスも含めた運行体制を整備していく必要があると考えるが、運行費用の増大やダイヤ調整などの課題もあるので、どのような課題があるか、調査を実施していききたい。



岡田和夫 議員

避難タワーの建設は

地元と相談しながら 町長

問

五ヶ所浦区から要望されている避難タワー建設について、地元から町に対して強い声があるので、対応は。

答

町長 五ヶ所浦区から平成22年10月7日に津波対策の避難塔建設要望書が提出されたが、その後まもなく東日本大震災が発生したことで、国や県の浸水想定が相次いで出されたことなどがあり、津波避難タワーの有効性を検討する必要があると判断した。

そのような中で、同区には津波避難シェルターの検討も薦めた結果、平成27年2月20日に津波シェルター設置の要望調査結果が提出された。このことを受け、施設の選択と設置場所の選定も同区に併せてお願いしている。



津波から命を守る拠点づくりを

問

町立病院の移転場所に対する住民の意見聴取について、住民みんなが自分の意見を持っているが町側に聞いてもらえる場がない。今からでも必要では。

答

町長 高台移転場所以は、住民の代表で構成する「町立病院移転推進委員会」により、3か所の移転候補地の中から優先順位をつけて、平成26年9月26日に答弁をいただいた。住民の意見という観点では、毎年、町長と住民が意見交換を

住民の意見を聞く場を

さまざまな機会を通じて 町長



行政と住民との対話が大事！

その他の質問

●「地方創生」への計画作りについて



田中喜一郎 議員

交通弱者への対策は

改善努力する 町長

問 デマンドバスの予約がとりにくいと住民からの声があるが、高齢化が進む町の交通弱者への、今後の対策計画は。

答 町長 デマンドバスの現状把握を目的に、昨年8月におこなった利用者アンケート調査によると、半数近くの人が病院への通院を利用目的としている。町立病院は平日午後2時から4時まで、メデイカルセンター内科1診は月・金曜日の午後3時までの診察も可能なので、事情もあると思うが、デマンドバス利用者には午後の受診も願いたいし、改善努力をしていきたいと考えている。



乗降位置追加で便利に

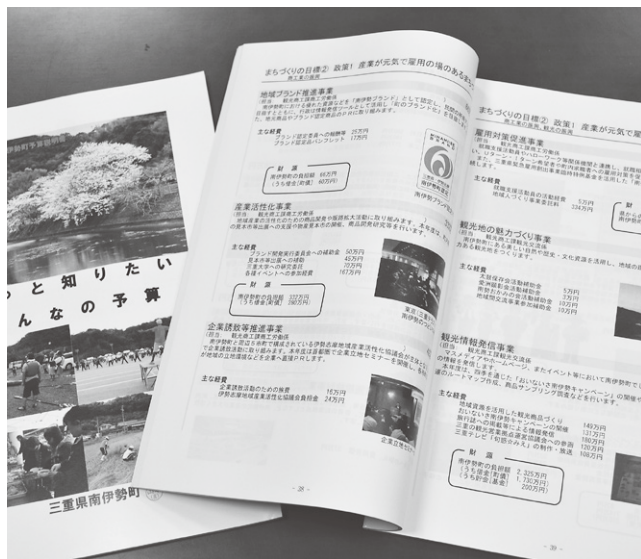
問 これからの地域社会づくりを考えたいとき、町民として、自分が住む自治体の財政を知ることが重要になってくると思う。今後の「予算説明書」配布予定を含め、町民との施策優先順位の合意形成に関しての考えは。

答 町長 重要な施策などについて合意形成を図り推進していくことが大切と考える。そのためにも施策などの情報を積極的に提供し、共有していくことが必要であり、予算説明書の配布や、平成22年度から開催している町政説明会の場

施策優先順位の合意形成を

情報を積極的に提供 町長

において重要な施策の説明などとともに、意見交換を通じてそれぞれの地域での課題や提案などをいただいている。



まちを知る

その他の質問

● 自然災害対策について



山本 芳隆 議員

商品券の販売方法は

公平性が保たれている 町長

問 商品券の取り扱い業者による商品券

大量購入のニュースが話題となった。プレミア付商品券の購入には何かと問題も発生するよう思うが、当町の販売方法はどうかであったか。

答 町長

当町商工会も、新聞折込・広報みなみいせで周知のうえ、一人5冊以内で窓口販売をしている。このことから、販売方法については公平性が保たれていると考える。



今年中に使いきってね (^v^)

町民に説明を

直接説明もしていきたい 福祉課長

問 平成27年8月から介護保険改正で、

介護サービス料金などが改正されている。町民にとっては身近な問題なので、広報みなみいせ7月号での周知は以外にも何かの機会に説明しては。

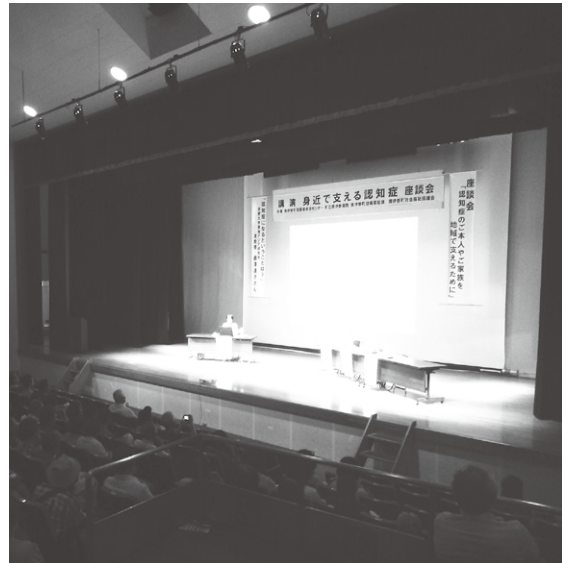
答 福祉課長

課長に限らず職員も町民の皆さんに直接身近なところで説明会や後援会・座談会などを行うと、話の内容の検討や資料作りなど相当に準備もするし、その場の皆さんの反応が直接感じられるためたいへん勉強になると思う。8月1日からの介護保険法改正については、利用者負担が変更となるものであり、確かに介護サービスを利用していただいている皆さんにとってたいへん身近な問題なので、今後機会をとらえて直接説明もしていきたい。

その他の質問

● 町立病院建設について

8月1日からの介護保険法改正については、利



身近なところでわかりやすい説明を

議員視察レポート

百間は一見にしかず！

県内で最もIT化が進んでいる鳥羽市議会を視察してきました

8月21日(金) 議員13名(※1名欠席)、事務局2名

議会改革特別委員会

議会のあるべき姿の追及と、議員一人ひとりの資質向上を目指して、研究と学習などの活動をしています。

6月に議員視察研修で、

訪れた福岡県大刀洗町議会が、タブレット端末を有効利用していたことを目の当たりにし、さらに、私たちの特別委員会でも議員間で関心度が高かったことから、県内で最もIT化の進んだ鳥羽市議会を視察することになりました。

御多忙の中にもかかわらず、浜口議長、井村副議長、そして事務局が対応してくださいました。事務局北村議事担当係長よりパワーポイントにより鳥羽市議会がIT化を進めた経緯について詳細に説明がありました。

IT化を進めた理由

- 費用（コスト）がかからない
- 市民に開かれた議会を目指して
⇒インターネットでの議会中継も可能
⇒市民との交流ができる
⇒市民にわかりやすい
- 通年議会を開催している



- 慣れるまで大変
 - 得意不得意の個人差がある
- ※議員同士で教え合って克服したとのこと

デメリット

- 情報収集がしやすい
- 事務局の仕事の軽減
- スケジュール管理がしやすい
- 資料やデータの保管が便利で、さらに出し入れが簡単
- 活用は無限大なのでいろんな取組ができる

メリット

※ITとは、情報技術 (Information Technology) の略です。

- 情報をデジタル化して管理するパソコンやデータ通信の技術を総称します。
- メリットは、紙に印刷して記録をしなくても、膨大な情報をパソコン一台で管理できることや、インターネット通信によって、世界中の情報やニュースを受け取ったり、世界中に情報を発信できることです。



みんなのつぶやき

■もう合併して10年になんの？

10年経つの早いな。(^^)わたしら良うなると思って合併に賛成やったけど、間違っへんだわ。自分も年とって、体いうことかへんし、旦那も車運転できんなって不便やけど、デマンドもあるし、病院も買物もなんとか行けるでな。でも、なんかさみしいのは、まだ町がバラバラな感じするんさ！わたしだけかいな？孫らの代になったら良うなるかな…。

(70代女性)

■和気あいあいと(^v^)

今年の夏頃から、南海地区のママ達と週に一度、運動するようになりました。みんな和気あいあいと、声を掛け合い、大笑いし、汗をかくことで心も体もリフレッシュされ、今では何よりの楽しみです。こんな楽しい機会を作ってくれたママさんに感謝の気持ちで一杯です。ありがとう!!

(30代女性)



あなたもつぶやきませんか？

どんなことでも大丈夫です(^^)/
みんなでつぶやきましょう。

思ったこと、感じてることを200字程度でつぶやいて下さい。

※ハガキかFAXで送って下さいね。

〒516-0194

南伊勢町五ヶ所浦3057

議会事務局 宛

FAX 0599-66-2164

■意識改革が急務

先日、ある自動車販売店に行ったとき、たまたま社員のプロフィールを見かけた。愛車はもちろん自社製品。その車の良さを熱く語っていて、気持ちが良く伝わってきた。さて、町職員はどうだろう？

いくら、トップダウンで「地方創生」「住みたい町づくり」と唱えても、当の町職員が、地元を捨て、町外から通勤している現状では、何も伝わってこない。言い方は悪いが「乗員が不安を感じ、他の船に逃げ出しているのに、誰がそんな船に乗ろうと思うのか！」私は、自分の仕事を愛し、誇りを持っている。南伊勢町を次の世代に残す覚悟を…と訴える前に、足元の意識改革が急務ではないか！

記念すべき合併10周年。だが広報の「人の動き」は、毎月2ケタの人口減を続けている。はたして、20周年を迎えることはできるのだろうか？「限界集落」という言葉が頭をよぎる。

(50代男性)

みんなでやっとならで～

町内のがんばっている人を紹介します！



G G B 倶 楽 部

設 立 平成26年4月 会 員 数 10名

○自分たちの手でまちづくりを

生き生きとした町を。元気のある町を。少しでもかつての賑わいを取り戻したい。そんな熱い心を持った人が集い、G G B 倶楽部を立ち上げました。

○GGB倶楽部とは

G芸術：芸術に親しみ、愛でる心を養う。

G芸能：豊漁太鼓や祭り、郷土芸能を次世代に伝承していく。

B文化：わが町独自の文化を守り育てていく。

この頭文字をとってG G B 倶楽部としました。

これらのことを掘り起こし、継承していくのも倶楽部の大きな役割です。一人ひとりでは小さな力ですが、人が集えば大きなうねりを起こせるに違いない。そんな想いで力を合わせ活動しています。

平成26年に第1回ふれあいまつりを開催し、3,000人を超える人が集い、かつての賑わいがそこにはありました。倶楽部では毎年の開催を目標にしています。

みんなの想いが夢のある素敵な町を作っていくのです。「自分たちの町は自分たちの手」、この想いを胸に頑張っています。みなさんもGGB倶楽部に参加し、一緒にまちづくりをしませんか。

【連絡先】代表 南 賢

募 集

議会だよりでは町のがんばり屋さんを募集しています。自薦他薦は問いません。
※下記の議会事務局まで

※議長・副議長在任期間を特別計算で上乘せ



■上村久仁議員
町村議会議長として5年以上在職
・町村議会議員として21年以上在職



■中山 盛議員
町村議会議員として21年以上在職

三重県町村議長会
自治功労者表彰

議会広報特別委員会

委員長	田中喜一郎
副委員長	掛橋 靖
委員	東 伊久雄
	河村 健志
	倉田 育

議 長 上村 久仁

上村議長が町村議長会副会長に就任
10月15日に津市で行われた『三重県町村議会議長会』の理事会において、当議会上村久仁議長が副会長に選任されました。
会長の飯田氏は『全国町村議会議長会』の会長も兼任されており、上村議長には会長を傍らで支える役割が期待されています。

議会を傍聴しませんか

12月定例会が開催されます。開催は12月8日～12月14日の予定です。ぜひ傍聴してください。（当日、総務課で受付をしてください。）

議会だよりについてのお問い合わせなどは、議会事務局までご連絡ください。

☎ 0599-661781
FAX 0599-2164

うろこ雲が空をおおい、秋の深まりを感じる日が増えてきました。今年、南伊勢町が誕生して10周年にあたり、4月より合併記念事業が執り行われてきました。合併記念事業が執り行われてきました。合併記念事業が執り行われてきました。合併記念事業が執り行われてきました。

編集後記

